



知っていますか、 小中一貫教育



市内の小中一貫教育の実践校として、平成 26 年 4 月に南波多小・中学校が『小中一貫校南波多校』、滝野小・中学校が『小中一貫校滝野校』となってから 1 年。両校は、これまで築いてきた学校間や地域との連携をさらに深め、新たなステージへ歩み出そうとしています。

今回の特集では、小中一貫教育の内容や両校の取り組みを、子どもや教師、関係者の声を交えて紹介します。皆さんも、小中一貫教育の良さやその意義について考えてみましょう。

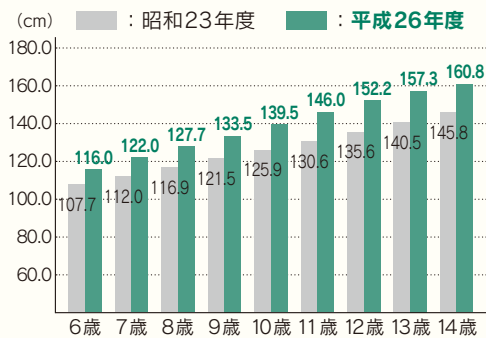


教育ゾーン（小学校～中学校）

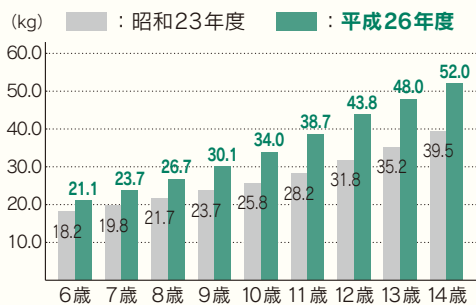




【グラフ1】子どもの平均身長と比較(全国)



【グラフ2】子どもの平均体重の比較(全国)



9年間を通じた教育

小中一貫教育とは、義務教育の9年間(小学校6年間、中学校3年間)を通じた教育課程を編成し、小学校と中学校の教師が互いに連携・協力しながら、子どもたちの豊かな人間性や社会性の形成、学力の向上をめざす取り組みをいいます。この教育を行うのが**小中一貫校**で、『一体型』や『隣接(併設)型』、『分離型』などの形態があります。

なぜ小中一貫教育なのか

戦後間もない昭和22年、義務教育制度(小学6年制、中学3年制)が導入されました。

以来、約70年が経過し、子どもの身体の発達は、個人差はあるものの、当時と比べて2年程度早くなっています**【グラフ1】**。それに伴い、思春期を迎える時期など、心の成長も早くなり、子どもたちの様子も変化しています。

例えば、小学4年生で授業内容がやや難しくなり、学習のつまづきが起こりやすくなる**『10歳の壁』**や、中学1年生が小学校の授業方法や学校生活との違いから、学習意欲が低下したり、不登校などが発生したりする**『中1ギャップ』**などの問題が生じています。

学習面や生活面で小学校と中学校を円滑に接続し、子どもたち一人一人の確かな学力と豊かな心、健やかな体をは

ぐくむとともに、いじめや学校不適応などの問題も解消し、充実した学校生活を送れるようにすることが、小中一貫教育のねらいです。

学ぶ力と個性を伸ばす

小中一貫教育では、小学校6年間と中学校3年間を円滑に接続するために、9年間を見据えた教育課程(カリキュラム)を作成し、学習指導や生活指導を系統的・継続的にを行いながら、学力の向上と個性の伸長を図ります。

学習面では、小学生が中学校に進学しても授業方法の違いに戸惑わないよう、また、中学生が授業内容につまずいても、基礎を学んだ小学校の授業方法で安心感を取り戻せるよう、小・中学校の教師が相互の学校で指導する**『乗り入れ授業』**を実施したり、小学校(学級担任制)の授業の一部で、中学校の教科担任制を取り入れたりとしています。

教師にもある効果

小中一貫教育の導入で、小・中学校の教師には、従来の校



↑滝野小学校の授業のようす。小・中学校の教師が合同で行うチーム・ティーチング(TT)は、子どもたちの好奇心をくすぐります。

務に加えて新たな負担が増えますが、教師間の交流による効果も見逃せません。授業面では、小学校教師が中学校教師の専門性を、中学校教師が小学校教師の板書や発問などのこまやかな指導法を学ぶことで、授業力の向上が期待できます。また、生活指導面でも、子どもたちの様子や指導方法について、教師間で頻繁に情報交換が行われることにより、子どもたち一人一人の個性に応じた、継続性のある指導が可能になります。

小中一貫

中学校



高校



大学

社会へ

ふるさとを愛し、志をもつ児童生徒の育成



小中一貫校 南波多校

伊万里市立南波多小学校／南波多中学校

知 南波多校の特色 その① 育 学びをつなぐ一貫指導と「乗り入れ授業」

【一貫指導の概要】

学校種	小学校						中学校		
ステージ	基礎期			活用期			発展期		
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
指導の重点	学習の習慣を身に付け、基礎・基本の習熟をめざす			自主性を育て活用力を修得			高い志で自学自習し、個性・能力を伸長		

【小・中相互の乗り入れ授業】

科目	書写	外国語	図工
学年	小5・6	小5・6	小5
時数	週1	週1	週1.5
科目	音楽	体育	数学
学年	小5	小6	中1
時数	週1.5	週3	週4

(平成26年度実績)

中学校の数学の乗り入れ授業では、小学生の時に教えてもらった先生が、基礎から丁寧に説明してくれます。分かりやすく、安心して授業を受けることができます。

前田 剛季さん・前田 蘭丸さん
藤田 華澄さん・池田 夏鈴さん
(南波多中学校1年)



中島 由香理 教諭 (南波多校／小学校)

徳 南波多校の特色 その② 育 奉仕活動や貢献活動で、地域の皆さんに感謝

ボランティア活動は、地域への「恩返し」です。町内の公共施設や老人福祉施設で実施しています。地域の皆さんにも「子どもと触れ合うのが楽しみ」と喜んでもらっています。



小中合同 ボランティア活動 (10月)

↑お世話になっている地域のために心を込めて作業します。



ふれあいコンサート (11月)

↑地域の皆さんと『ふるさと』を合唱。学校と地域が一体となる瞬間です。

体 南波多校の特色 その③ 育 合同運動会や各種体育行事



合同運動会 (5月)

↑小学1年レク走では、中学生が小学生を頼もしくリードします。



持久走大会 (11月)

↑子どもたちは、自分で目標を持って取り組んでいます。

合同運動会は12年目を迎えました。思春期で難しい年ごろの中学生が小学生を思いやり、一緒に頑張る姿は、いつ見てもほほえましいですね。小学生も、体を鍛えていて健康そのもの。地域も全力で応援しています。



前田 正光さん (地域支援コーディネーター)



↑ボランティア活動で、大好きなお姉さんたちと手をつなぎ、笑顔がこぼれる小学生



校長 (南波多校／中学校)

地域に支えられ、小中一貫校がスタートしました。合同行事では、ほほえましい光景が数多く見られ、小学生は中学生にあこがれを抱いています。

小・中学校9か年を通した教育目標の下、小・中学生が仲良く勉強や運動、ボランティア活動に取り組む笑顔いっぱいの小中一貫校です。



熊本 輝美 校長 (南波多校／小学校)

校長 からひとこと



豊かな人間性、確かな学力、生きる力をはぐくむ

小中一貫校 滝野校

伊万里市立滝野小学校／滝野中学校

知 滝野校の特色 その① 育 学年ステージ制と「乗り入れ授業」

【学年ステージ制の概要】

学校種	小学校				中学校				
	基礎期				定着期			充実期	
ステージ									
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
指導の重点	基礎的学習を繰り返して、習熟をめざす				専門教科の指導を取り入れ、小・中を円滑に接続			応用で個性・能力を伸ばす	

【中→小学校への乗り入れ授業】

科目	書写	社会	理科
学年	小3～6	小6	小6
時数	週2	週3	週3
科目	外国語	体育	算数
学年	小5・6	小3・4	小5・6
時数	週1	週3	週5

(平成 26 年度実績)

乗り入れ授業によって、小学校の学習内容を把握でき、小学生の実態に応じた指導ができます。小学生も、中学入学後は、スムーズに学校生活を送ることができています。



山田 泰史 教諭 (滝野校／中学校)

徳 滝野校の特色 その② 育 子どもたちの心をはぐくむ体験活動



茶摘みには、保護者もほぼ全員参加します。子どもたちも楽しんでいるようです。日ごろは、親と作業する機会があまりないので、貴重な体験です。年に5～6回は、茶園の手入れも手伝います。今後は、近くの製茶工場も見学させてあげたいと思っています。

吉武 正 さん (滝野小・中学校 PTA 会長)



↑小・中学生が保護者と一緒に茶葉を摘み、袋詰めして販売しました。



↑アメリカンスクールとの交流。ゲームなどで英語に親しみました。

体 滝野校の特色 その③ 育 卓球クラブ(部)活動と伝統行事「奉納相撲」



ジュニア卓球クラブ

↑5年前から始まったクラブ活動。中学生が指導します。



奉納相撲 (12月)

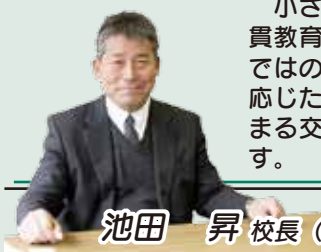
↑小学校低・高学年と中学生に分かれて「ガチンコ」勝負です。

小学校のジュニア卓球クラブは、中学生と一緒に練習します。中学生もクラブ出身で、去年の市中体連では、滝野中卓球部が優勝！ほかの行事でも、中学生が小学生を引っ張ってくれます。僕たちも、4月から中学生になるので、頼れるお兄ちゃんになりたいです。



平川 光輝 さん・谷 響志郎 さん (滝野小学校6年)

校長 からひとこと



池田 昇 校長 (滝野校一・小・中学校)

小さな学校の持ち味を生かすために、小中一貫教育を進めています。これからも、滝野ならではの活動を取り入れていきます。一人一人に応じた、きめこまかな指導と小・中学生の心温まる交流など、魅力いっぱいの学校が滝野校です。



↑平成 26 年度から新たに取り組んだ『たきの寺子屋』。夏休みに、中学生が小学生に勉強を教えます。